

# ぱいでいあ社会体験学習のお知らせ

2018年5月16日(水)

## 「上野動物園・公園周辺散策」

**経路** (片道：大人388円)

**行き** JR京浜東北線：浦和駅：11時00分集合。集まり次第出発：→約20分→上野駅着（予定）

公園口に下車。徒歩にて散策、食事処探す。食事の後、上野動物園に入る。

**帰り** JR京浜東北線：上野駅：3時頃（予定）→約20分→浦和駅着：浦和駅にて解散（予定）

◆上野動物園入園料：一般600円、中学生200円、小学生以下無料、障害者手帳持参は無料

◆持ち物：水（水筒等）、スマホ、デジカメ、筆記用具、ティッシュ等、常備薬等（必要者）

◆食事代：上野でなるべくご当地物を。1000円～1500円用意を。

◆お土産代・小遣い等は適当に。

◆レポート提出：400字詰め原稿用紙で2枚以上何枚でも。

義務ではありませんが前向きに検討を。自身の表現行為の向上のために。

◆1883年にターミナルの上野駅が開業して以来発展を遂げてきた上野の街だが、2016年7月には国立西洋美術館が世界遺産に登録され、今や東京のど真ん中の観光地として内外から注目されている。

上野界隈は山の手と下町のエリアの両方が共存し、山の手エリアには数多くの文化施設が集中する。一方の下町エリアにはアメ横を中心に飲食店や商店街が広がり、御徒町や湯島方面へと延びている。アメ横には平日でも10数万人、年末には50万人にも上るとか。

今回のエリアでもある上野公園の案内図でも美術館・博物館が6施設、劇場が3施設記されている。これほど多くの文化施設の集中は都内でも珍しい。また、それぞれが美術品ともいえる名建築であり、著名な建築家が設計に関わっている。

◆さて、今回の社会体験学習のメインが上野動物園。東京の都心にありながら自然の景観を維持した動物園。約350種2500点の動物を飼育しているとか。丘陵地に位置する東園と不忍の池の隣接する西園からなる。東園には、サル、パンダ、ゴリラ、トラ、ゾウ、クマ、ホッキョクグマ、アザラシや、日本の動物のエリアもある。西園には、キリン、カバ、サイ、ハシビロコウ、アイアイなどのアフリカ産の動物や小獣館、両生類、爬虫類、それに家畜と触れ合える「子ども動物園すてっぷ」もある。

